

就職氷河期世代支援における 支援施策のオンライン化事例

令和3年9月

①就職氷河期世代の就職支援のためのハローワークにおけるオンライン職業相談の実施

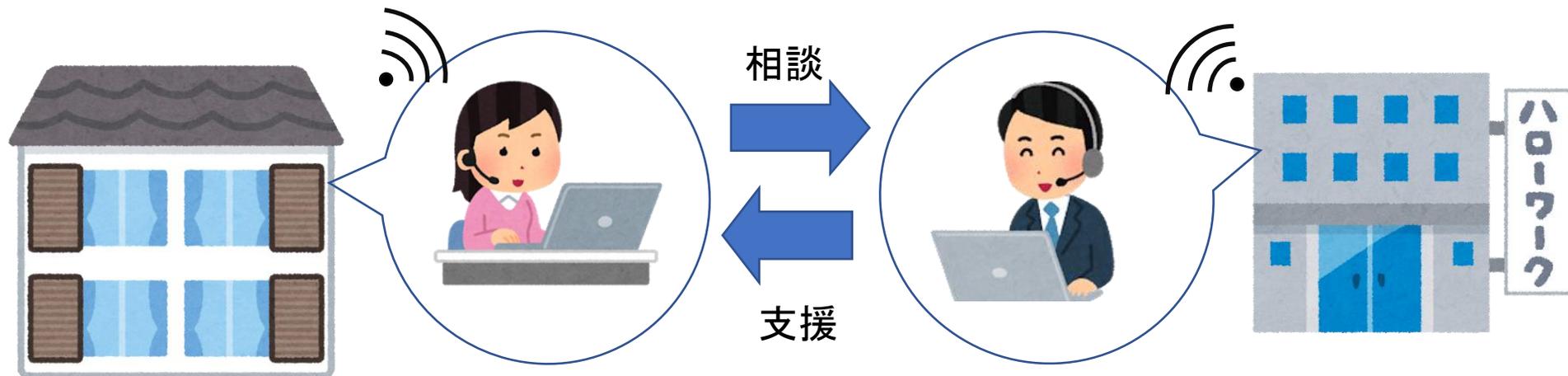
(就職氷河期世代専門窓口) 令和2年度第3次補正予算額 0.1億円
令和3年度予算額 16.6 (14.9) 億円

(オンライン職業相談にかかる経費) 令和2年度第2次補正予算額 0.6億円の内数
令和3年度予算額 0.1 (0) 億円の内数

➤就職支援については、求職者がハローワークの専門窓口等で対面で行うことが原則であったが、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、令和2年度より順次、一部のハローワークにおいて、オンライン会議アプリを用いた相談支援を試行実施。

➤ハローワークにおけるオンライン職業相談実施箇所数(令和3年度予算措置):150所

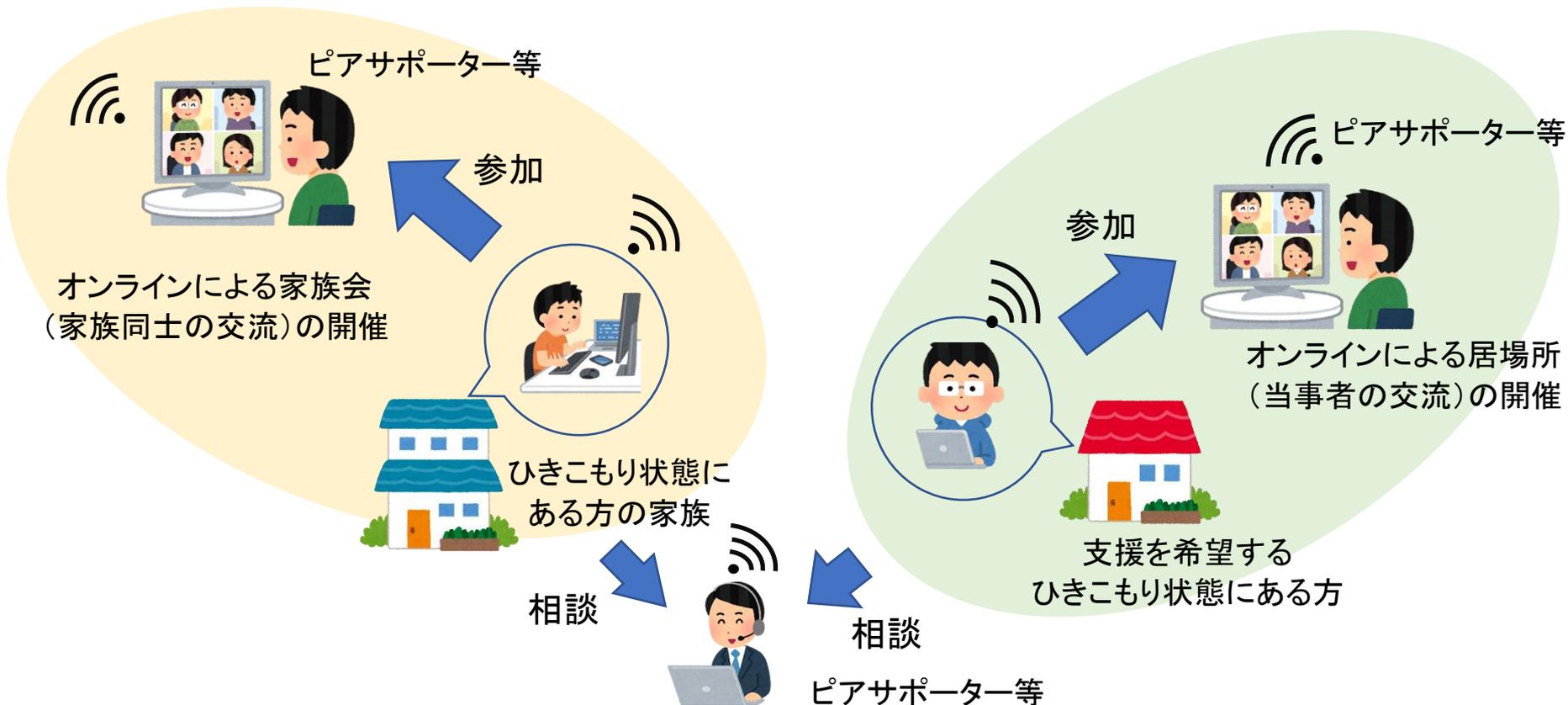
令和4年度概算要求において、出張所や分室を除く全てのハローワーク(434所)でのオンライン職業相談実施のための予算を計上している。



②ひきこもり当事者（ピアサポーター）等によるSNS・電話等による支援の充実

令和2年度第3次補正予算額：140億円の内数（一）

- ▶新型コロナウイルス感染症の流行により、感染拡大防止に配慮した、当事者同士が集まれる居場所、家族同士が集まれる家族会の開催や相談支援が求められている。
- ▶また、ひきこもり当事者にとって、当事者（ピアサポーター）等との会話は安心できるものであり、加えて、SNS等を用いたオンラインによる相談は、対面での相談に比べて相談に対する心理的ハードルが低い。
- ▶令和3年度から、SNS等を活用した相談支援、ビデオ通話による居場所、家族会等による支援を充実している。



③中小企業・小規模事業者人材対策事業

令和3年度予算額 10.5億円の内数

➤全国各地で、中小・小規模事業者を対象に、地域内外の多様な人材(女性・シニア・外国人等)を確保するためのセミナー・マッチングを実施。就職氷河期世代を含む多様な人材の確保に向けたマッチングイベントについて、これまでは対面で行っていたが、現在はデジタルツールやオンラインツールを積極的に活用し、一部オンラインで開催を行っている。

➤支援の実績: マッチングイベント30件のうち22件(令和2年度実績)

1. 講演・セミナー

- 経営者等向けに、業務の細分化や人材像の明確化、採用手法に関するセミナー等を実施。



2. 魅力発信

- WEBや交流会、インターン等において、企業の強みや経営者の思い、職場環境等の魅力を発信。



3. マッチング

- 参加人数の多い大規模開催に加えて、人材タイプに応じた小規模開催も実施。
- 面談型だけでなく、企業側人材側の双方のコミュニケーションが図れる対話型も実施。



4. 定着

- 職場環境の見直し等による離職防止の重要性やノウハウ獲得の研修等を実施。

研修

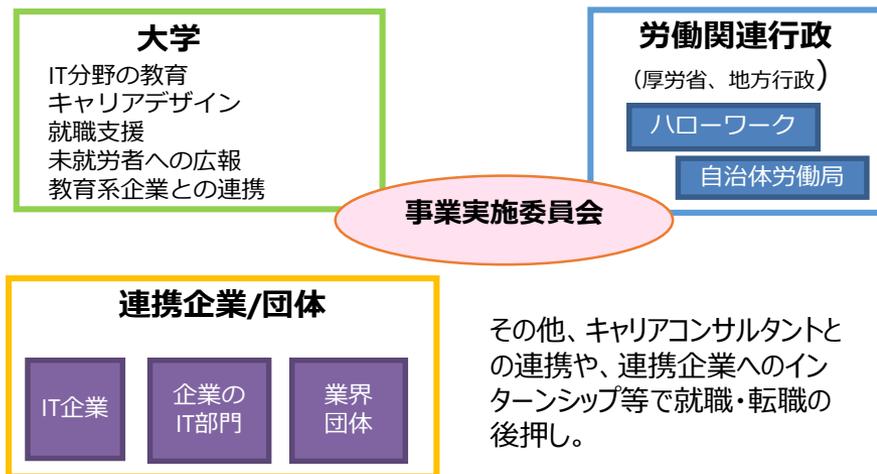
④就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業

令和2年度第3次補正予算額 13億円の内数

- 非正規雇用労働者・失業者、希望する就職が出来ていない若者を主な対象に、大学等が地方公共団体、企業、経済団体等と連携し、即効性があり、かつ質の高いリカレントプログラム(受講費無料)を開発・実施し就職・転職を支援する。
- 要件を満たした受講生は厚生労働省の職業訓練受講給付金による経済的支援を受けながらの学習が可能。
- 新型コロナウイルス感染症の流行も踏まえ、オンライン講義と対面講義を組み合わせ集中的に提供する体制を整備。
 - *採択プログラムの審査においてもオンライン等の活用を求めている。
- 22都道府県・40大学・63プログラムを実施(主な分野:デジタル、医療介護、地方創生、女性活躍 等)

プログラムの開発・実施体制

・A大学「失業者向けITリカレント教育プログラム」



オンラインと対面を組み合わせ提供



⑤テレワーク普及展開推進事業

令和3年度予算額 2.6億円の内数

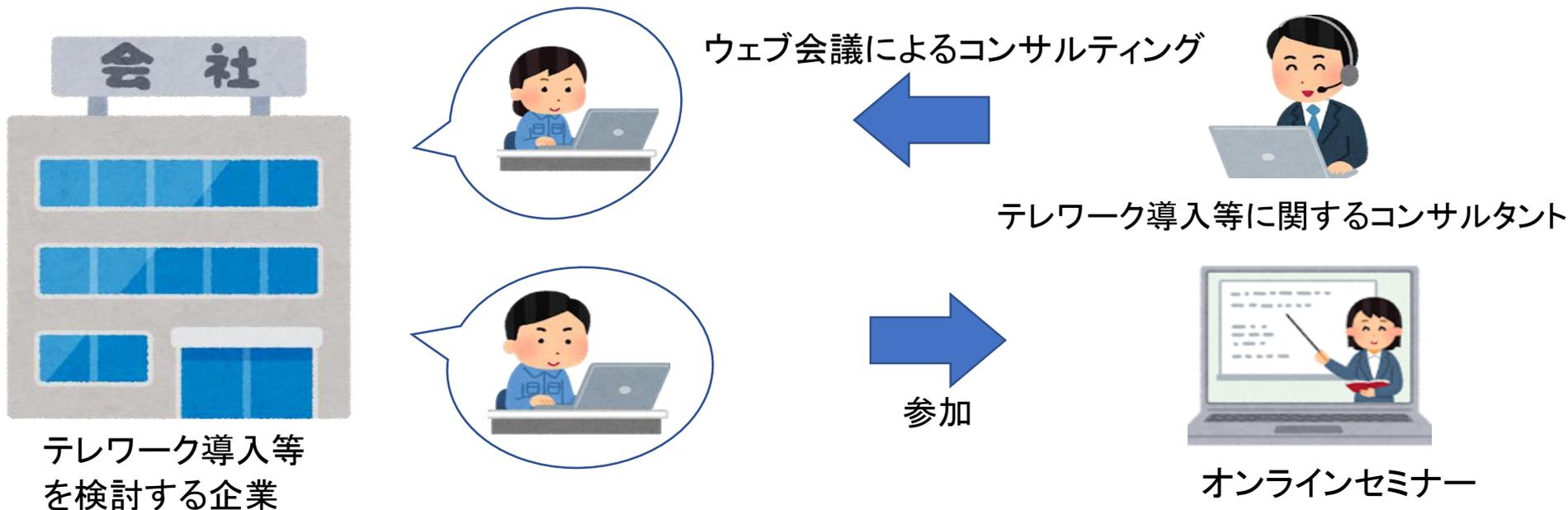
➤テレワークマネージャー事業として、テレワークの導入等を検討する企業に対する、専門家による無料コンサルティングについて、コンサルタントをリアルに派遣する形としていたものを、原則としてウェブ会議や電話により実施することとした。

(608/664件)

➤テレワーク・サポートネットワーク事業におけるセミナーをリアル開催から主にオンラインによる開催とした。

(281/434件)

※いずれも令和2年度実績値 (オンライン化件数/全体件数)



⑥人材育成事業や研修事業に係るオンライン化

新規就農者確保加速化対策事業

令和2年度第3次補正予算額 40.8億円の内数

- 座学と実地研修のプログラムのうち座学による講義の一部について、オンライン化。
- 研修の一部をオンライン化している都道府県の数: 8



座学(オンラインで実施)



実地研修

地域における観光産業の実務人材確保・育成事業

令和3年度予算額 1.2億円の内数

- 事業成果報告会をオンラインで実施
…1回(令和2年度)



各地域において
人材確保・定着の
取組を実施



終了後



報告会(オンラインで実施)

⑦地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業

(SNSとAIを活用したキャリアカウンセリング・キャリアアップサポート事業)

令和2年度第3次補正予算額 30億円の内数

- 就職支援については、求職者が相談窓口(ハローワーク等)に直接足を運んで対面で行うことが原則であるが、その場合、働きながら転職サポートを受けることが時間的な制約から困難な場合があること等から、神戸市において、令和2年12月より、SNS(チャットボット)やAIを用いた相談支援体制を構築。
- 就職者数(非正規雇用者を含む):27名、カウンセリング受講者数:386名
- チャットボットの友達ユーザー数:1,400名

